

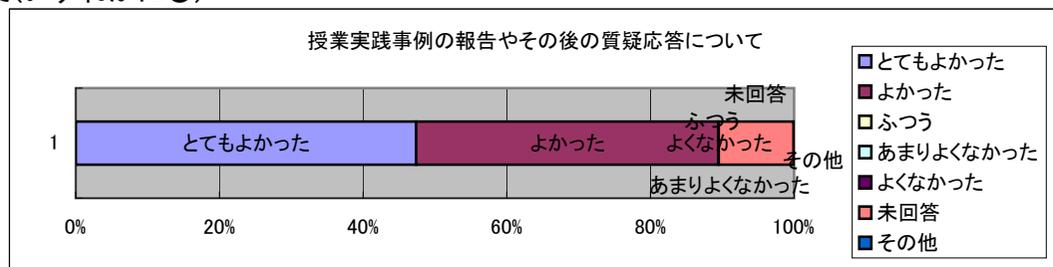
「大学授業研究会」アンケート(第4回 12月2日)

1. 教育 北口 勝也 先生 2. 薬学 黒田 幸弘 先生 3. 建築 杉浦 徳利 先生

参加人数	40
アンケート回収枚数	19
アンケート回収率	48%

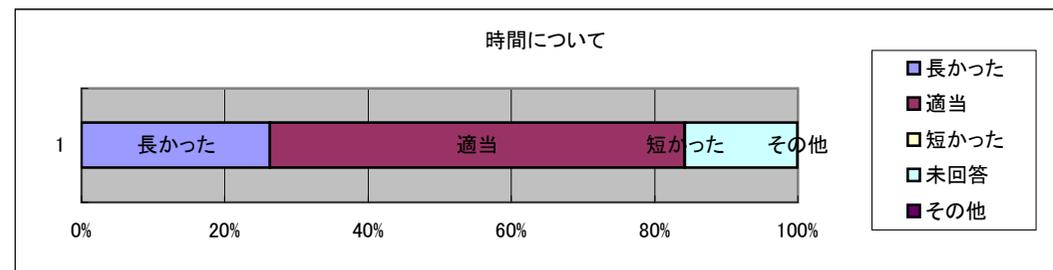
1. 授業実践事例の報告やその後の質疑応答について(いずれかに○)

とてもよかった	9
よかった	8
ふつう	0
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
未回答	2
その他	0



2. 時間について(いずれかに○)

長かった	5
適当	11
短かった	0
未回答	3
その他	0



3. 自由記述コメント(抜粋) 17件

* 応用行動分析の授業への応用は、大変参考になった。我々にとっては、よく知っている内容であるにもかかわらず、「なるほど体験」ができたプレゼンテーションであった。

* 無理に長引かせる必要ないのでは？

- ・具体例を示してもらえるので、わかりやすい。
- ・様々な授業を知り、自分が取り組みやすいものを選択できる機会になった。

北口先生の御報告が、同じ教育学科ということもあって、一番参考になりました。自分の授業の仕方を、また考え直してみようと思います。

北口先生のご発表は授業を理論的分析され新鮮味があった。

黒田先生の 教師→(解説)と学生←(理解したことを整理)がやるべきことを説明するところが印象に残っています。

北口先生の発表は、整理されており、大変勉強になりました。早速授業に取り入れることができそうです。

いつも参考になります。

黒田先生の他の科目との関連を示して、自身が教えておられる科目の重要性を示すという工夫や、ノートの取り方のモデルを示すというやり方は、学生のモチベーションを上げたり、効果的に学ばせる上で有効だと思った。参考にしたい。

また杉浦先生も御自身が担当されている科目をうまく連携させておられた。自分の科目で完結するのではなく、他の科目の存在を意識する必要性と面白さを感じた。

北口先生の、心理学的アプローチでの私語発生と抑止の分析が、大変参考になりました。

<ul style="list-style-type: none"> ・忘れていた教授法を思い出すことができた。 ・教授法上、同じ悩みを抱えていることを知り、親近感を覚えた。ともに頑張りましょう。
北口先生:教育心理学の講義でした。
黒田先生:Excellent!!
杉浦先生:建築学科の講義内容が理解出来ました。
他の教員の授業の工夫を知る機会としました。授業の構造解析の視点は新たに学習させてもらいました。黒田先生の細かな配慮と工夫、試行改善の方法について知ることが出来て大いに参考になりました。
何れも私語の抑制という視点、切り口からの講演でしたが授業構成に大いに参考になりました。
黒田先生のご苦勞はよくわかる。私も理数系まるでダメという学生にコンピュータを教えているので。
もっと多様な例があると思います。
学内には、すばらしい専門の先生がいるとわかりました。3先生ともに、それぞれの学問内容に合った工夫がされていたと思います。
①合同教授会につづいているのでやはり、気分的にシンドイです。
②それぞれの先生の工夫がわかってよい。

4. 今後の希望(抜粋) 7件

*「失敗事例から学ぶ」ようなテーマのプレゼンテーションがあればいいかもしれない。
①せっかくの機会なので、できるだけ全教員が出席できる日時設定にはいかがでしょうか。
②毎回1人の発表時間が守られていません。ならば、2人程度に抑えて、1人あたり30分以内でプログラムを考えても良いのではないのでしょうか。
コーチングの研修会の実施(双方向授業実践のため)
続けて頂きたい
例えば、北口先生(教育)の教えてくださった内容は、私自身、習ったことがありません。もっと長い時間聞きたかったです。授業研究会とは違ったスタイルでというのは難しいでしょうか。
特になし

5. 所属

日文
英文
教育
健スポ
心福
環境
食物
情報
建築
音楽
薬学
共通
教研
事務
未回答
計

0
2
2
1
4
1
1
1
1
0
0
3
1
0
0
3
19

